

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	臨床生理検査学1 (Clinical Physiology 1)		
ナンバリングコード	S20329	大分類 / 難易度 科目分野	保健医療学科 / 標準レベル 臨床検査学
単位数	1	配当学年 / 開講期	1年 / 後期
必修・選択区分	コース必修: 臨床検査学コース 選択: 診療放射線学コース、臨床医工学コース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	S008951	クラス名	-
担当教員名	中川 幹子、佐野 成雄		
履修上の注意、履修条件	臨床検査学コースの学生は必ず履修し、全ての授業に出席すること。 原則として指定した教科書に準じて授業を行うが、補足のプリントを配布する。 難解な内容のため、必ず予習しておくこと(教科書の指定ページを読んでおく)。 授業の3分の2以上に出席していない者には、期末試験の受験資格を与えない。 課題(レポート、小テストなど)は指示された方法で期限内に提出すること。期限を過ぎたら受理しない。		
教科書	最新臨床検査学講座 生理機能検査学 第2版 (医歯薬出版株式会社、2023)		
参考文献及び指定図書	病気がみえるvol.2循環器 第5版(MEDIC MEDIA、2021) スパイロメトリーの基本と秘訣(田口善夫監修、柴田正慶著、克誠堂出版) 臨床検査技師国家試験問題集(医歯薬出版)		
関連科目	臨床生理検査学2		

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【ディプロマ・ポリシー1】				
【ディプロマ・ポリシー2】	・標準12誘導心電図の原理と記録方法を説明できる。 ・正常の心電図波形を理解し、異常波形を認識できる。 ・呼吸の生理と呼吸機能検査の基本的な手技・検査方法を説明でき、記録波形の正常と異常を認識できる。	60点	30点	10点
【ディプロマ・ポリシー3】				
【ディプロマ・ポリシー4】				

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
・原則として、毎回の授業終了前に小テストを実施する。小テストの解説は次の授業中に行う。 ・実際の心電図や呼吸機能検査データを供覧後、グループに分かれてディスカッションし、読み取れた所見を発表する。授業中に解説する。 ・期末試験を1回実施する。期末試験の正解と解説は試験終了後に公開する。

○基本情報	
授業の目的	生理学検査を行う上に知っておくべき重要な内容の授業である。 まず、循環生理と心臓の電気生理の基礎を学んだ上で、心電図の原理を理解し、標準12誘導心電図の記録方法および誘導について理解する。 心電図の各波形が表す生理的意義を理解し、正常と異常波形を判別する。 運動負荷心電図、ホルター心電図などのその他の心電図検査について知る。 心音図と脈波検査の基礎を知る。 呼吸生理を学び、呼吸機能検査の原理と方法を理解する。 呼吸機能検査の記録波形の正常と異常パターンを判別する。 血液ガス分析と酸塩基平衡の原理を理解する。
授業の概要	本科目では、循環および呼吸機能の原理と検査法を学修する。それぞれの領域において、心電図、心音図、ABI/PWV(足関節上腕血圧比/脈波伝播速度)、呼吸機能検査、血液ガス分析、睡眠時無呼吸検査の測定原理・検査法などの基礎的事項とともに、検査結果の臨床的意義、疾患の診断について具体的な理解を深める。また、それぞれの検査に必要な技能・態度について学修する。 (オムニバス方式/全8回) (中川幹子/4回) 心電図検査、心音図検査、脈波検査 (佐野成雄/4回) 呼吸機能検査
授業の運営方法	(1) 授業の形式 「講義形式」 (2) 複数担当の場合の方式 「オムニバス方式」 (3) アクティブ・ラーニング 「グループワーク」
地域志向科目	該当しない
実務経験のある教員による授業科目	中川幹子(医師): 心電図の記録、判読、循環器疾患の診療 佐野成雄(臨床検査技師): 心電図、心音図、ABI/PWV、呼吸機能検査、血液ガス分析、終夜睡眠ポリグラフィーの記録、判読

○その他
授業内容や学修方法に関する質問は、授業中や授業終了後に講義室で受け付ける。

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	臨床生理検査学1 (Clinical Physiology 1) 中川 幹子、佐野 成雄	授業コード	S008951
学修内容				
1. 心電図検査1(中川) 授業のガイダンス、循環生理、心電図検査の基本、心電図波形の成り立ち				
予習	循環生理、心電図検査の基本、心電図波形の成り立ちについて予習する。教科書p1～19を読んでおくこと。			約2時間
復習	講義内容をノートにまとめる。			約2時間
2. 心電図検査2(中川) 心電計・誘導法、心電図検査の実際、正常心電図 グループに分かれて、実際の心電図の判読練習を行い、所見を発表する。				
予習	心電計・誘導法、心電図検査の実際、正常心電図について予習する。教科書p19～27を読んでおくこと。			約2時間
復習	講義内容をノートにまとめる。			約2時間
3. 心電図検査3(中川) 異常心電図(不整脈、心房負荷・心室肥大、虚血性変化等) グループに分かれて、実際の心電図の判読練習を行い、所見を発表する。				
予習	異常心電図について予習する。教科書p27～45を読んでおくこと。			約2時間
復習	講義内容をノートにまとめる。			約2時間
4. 心電図検査4(中川) 運動負荷心電図・ホルター心電図・その他の心電図検査、心音図、脈波検査				
予習	運動負荷心電図・ホルター心電図、心音図、脈波検査について予習する。教科書p45～76を読んでおくこと。			約2時間
復習	講義内容をノートにまとめる。			約2時間
5. 呼吸機能検査1(佐野) 呼吸生理の基礎と呼吸機能検査機器				
予習	呼吸生理の基礎について予習する。教科書p169～176を読んでおくこと。			約2時間
復習	講義内容をノートにまとめる。			約2時間
6. 呼吸機能検査2(佐野) 換気機能検査 グループに分かれて、実際のスパイロメトリの判読練習を行い、所見を発表する。				
予習	呼吸の生理と機能検査機器について予習する。教科書p177～197を読んでおくこと。			約2時間
復習	講義内容をノートにまとめる。			約2時間
7. 呼吸機能検査3(佐野) 肺胞機能検査 グループに分かれて、実際のクロージングボリューム曲線・肺拡散能力の判読練習を行い、所見を発表する。				
予習	肺胞機能検査について予習する。教科書p197～207を読んでおくこと。			約2時間
復習	講義内容をノートにまとめる。			約2時間
8. 呼吸機能検査4(佐野) 血液ガス(血液ガス分析と酸塩基平衡)、睡眠時無呼吸検査				
予習	血液ガス、睡眠時無呼吸検査について予習する。教科書p207～229を読んでおくこと。			約2時間
復習	講義内容をノートにまとめる。			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	臨床生理検査学1 (Clinical Physiology 1) 中川 幹子、佐野 成雄	授業コード	S008951
学修内容				
9. 期末試験 学修した内容について筆記試験を実施する。				
予習				
復習				
10.				
予習				
復習				
11.				
予習				
復習				
12.				
予習				
復習				
13.				
予習				
復習				
14.				
予習				
復習				
15.				
予習				
復習				
16.				
予習				
復習				